



未来を創る 玉名市の小中一貫教育

～すべては子ども達のために～

1 玉名市の小中一貫教育

玉名市では、中学校区内の小中学校が一体となって、小中一貫教育に取り組んでいます。

学校は、保護者や地域の皆さんと連携して、子どもたちの「知・徳・体」のバランスのとれた成長と学校生活の充実を図り、豊かな人間性や社会性を育てます。小学校と中学校の教職員が互いに協力し合いながら、義務教育9年間を見通した一貫性のある学習指導や生徒指導を行っています。

(1) 小中一貫教育導入の背景

社会環境の著しい変化等を背景とする様々な課題が、学校教育においても山積している



9年間で向上すべき資質・能力が低下している

- 「リーダーとして周りの人をまとめて引っ張っていける自信がある」
- 「自分の行動や発言に自信を持っている」
- 「自分にはよいところがある」
- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」
- 「将来の夢や目標を実現するために努力している」

－ H25 全国学力・学習状況調査より －

学校教育が抱える問題の解決のために義務教育9年間を一体としてとらえる教育が全国で推進され、成果を上げている

- 教育基本法、学校教育法の改正による義務教育の目的・目標設定の新設
- 全国の状況（平成26年 文部科学省実施の調査結果による）
 - ・小中一貫教育を実施中の市町村：全体の約1割
 - ・小中一貫教育を実施予定又は検討中の市町村：全体の約1割
 - ・「大きな成果が認められる」又は「成果が認められる」と回答した実施校：全体の約9割
- 成果の例：「授業が理解できるようになり、勉強で悩む子どもが減少した」「学習意欲が向上した」「思いやりや助け合いの気持ちが育った」など
- 中央教育審議会「小中一貫教育」の制度化を求める答申
 - 平成27年度の通常国会で必要な法改正について審議→制度化へ

(2) 義務教育9年間の連続性を生かした教育実践

一般的に小学校と中学校の間には、下の枠内に示すような差異があり、「中1ギャップ」と呼ばれるような不適應の状況が生じるとされています。また、教職員の側にも小学校と中学校の間に意識の差が存在します。

【主な小・中学校段階間の差異】

- ① 授業形態の違い（小学校：学級担任制／中学校：教科担任制）
- ② 指導方法の違い（小学校：丁寧にきめ細かく指導、比較的活動型の学習が多い／中学校：小学校に比べてスピードが速い、講義形式の学習が多い）
- ③ 評価方法の違い（小学校：単元テスト中心、関心・意欲・態度が重視される傾向／中学校：定期考査中心、知識・技能が重視される傾向）
- ④ 生徒指導の手法の違い（中学校では思春期を迎える生徒を指導することもあり、小学校と比較して規則に基づいたより厳しい生徒指導がなされる傾向）
- ⑤ 部活動の取り組み方の違い（放課後のみならず休日の活動を行う機会も増えるなど、子どもの生活が劇的に変化する）

－ 中央教育審議会答申（H26.12.22）より －

玉名市では、発達の連続性をふまえて児童生徒を理解するとともに、指導の系統性・連続性を重視します。小中学校の教職員の共通理解のもと、市内すべての学校で小中一貫教育を充実させるために、次のような方針を定めています。

かしこく

きめ細やかな指導で
学びと育ちの基礎を培います。

ゆたかに

自分の目標に向かう自主性
を育成し、小中学校の円滑
な接続を行います。

たくましく

リーダー性や個性の
伸長を図り、進路希望
の実現に努めます。

| 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 |
|--|----|----|----|---|----|----|--|----|
| 基礎・基本期 | | | | 習熟・接続期 | | | 充実・発展期 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学級担任や少人数指導等によるきめ細やかな指導により、生活や学習の基礎をしっかりと身に付けさせます。 ・幼稚園や保育所と密に連携し、個に応じた指導を充実させます。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制の一部導入や小中教職員の協力による授業を行い、学習意欲を高めます。 ・小小・小中の交流を充実させることで視野を広げるとともにコミュニケーション能力の伸長を図ります。 ・社会や生き方について考える力の基礎を育てます。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活習慣づくりや自学自習など、自律的態度を身に付けさせます。 ・生徒会活動の充実を通して、自主性や主体性を育てます。 ・志高く生きる心情を育てます。 | |

「玉名学 探究」の実施

「玉名学 礼節」「玉名学 日本語」の実施

エンジョイ・イングリッシュの実施

特別支援教育支援員による支援の実施

(3) 中学校区で取り組む小中一貫教育

玉名市には6つの中学校があります。玉名市学校規模・配置適正化基本計画を推進する中で、可能な限り小中一体型または併設型の学校づくりを目指します。

しかし、当面は、複数の小学校と中学校が離れて存在するという状況が続きます。そこで、玉名市では下記のような基本方針を定め、どの中学校区においても教職員が協力しながら児童生徒の9年間の育ちを見守り、楽しく充実した学校生活を送ることができるようにします。

- ① 6つの中学校区ごとに、それぞれに「目指す子ども像」を定めます。
- ② 中学校区で、課題解決と目指す子ども像の具現化のための共通実践事項を設け、すべての小学校と中学校が足並みをそろえて「知・徳・体」の指導に取り組みます。
- ③ 中学校区で、9年間を見通した継続的な学習指導・生徒指導、特別支援教育を行います。
- ④ 中学校区で、小中学校教職員の合同研修・会議を行います。
- ⑤ 中学校区で、小学校間及び小中学校間の児童生徒等の交流を充実させます。



② 郷土玉名への誇りを胸に国際社会を生き抜く子どもを育てるために

義務教育9年間を貫く、特色ある学習活動を導入します。

〔玉名学〕 すべての小中学校で教育課程特例校の指定を受け、実践します

《目指す教育》

- 1 礼節を重んじると同時に、基本的な生活習慣を身に付けさせるための教育
- 2 日本や玉名の伝統文化を守り育てるための教育
- 3 国際的知性を身に付けさせるための教育

《子どもたちに身に付けさせたい資質・能力》

- 1 社会性及び道徳性
- 2 伝統や文化を大切にしようとする心
- 3 国際社会の中で自立していける力

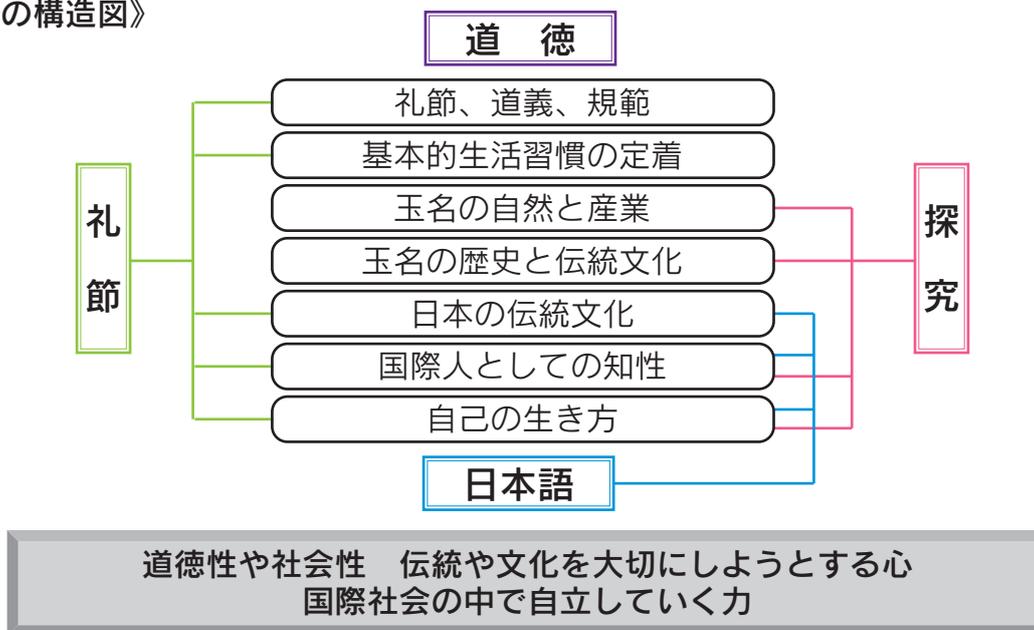


《具体的内容…7つの大きな柱》

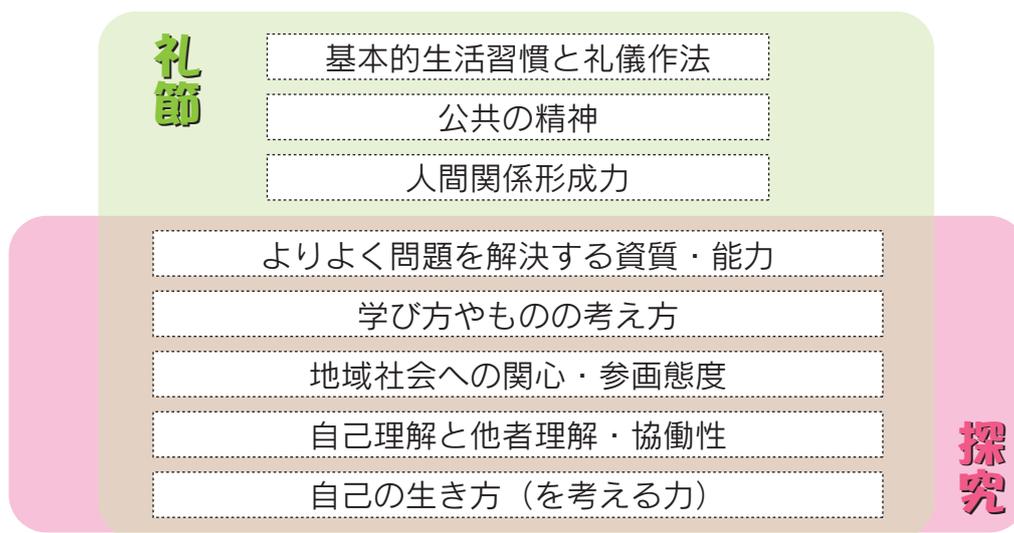
- 1 礼節、道義、規範
- 2 基本的な生活習慣の定着
- 3 玉名の自然と産業
- 4 玉名の歴史と伝統文化
- 5 日本の伝統文化
- 6 国際人としての知性
- 7 自己の生き方

『玉名学』は、小学校1年生から中学校3年生まで系統的に学習していきます。そして、これらの学習をとおして、生まれ育った玉名への誇り、日本人としての尊厳、国際社会を生き抜く力をもつ子どもたちを育てていきたいと考えています。そのために、独自のテキスト「玉名学礼節」「玉名学探究」「玉名学日本語」を準備しています。

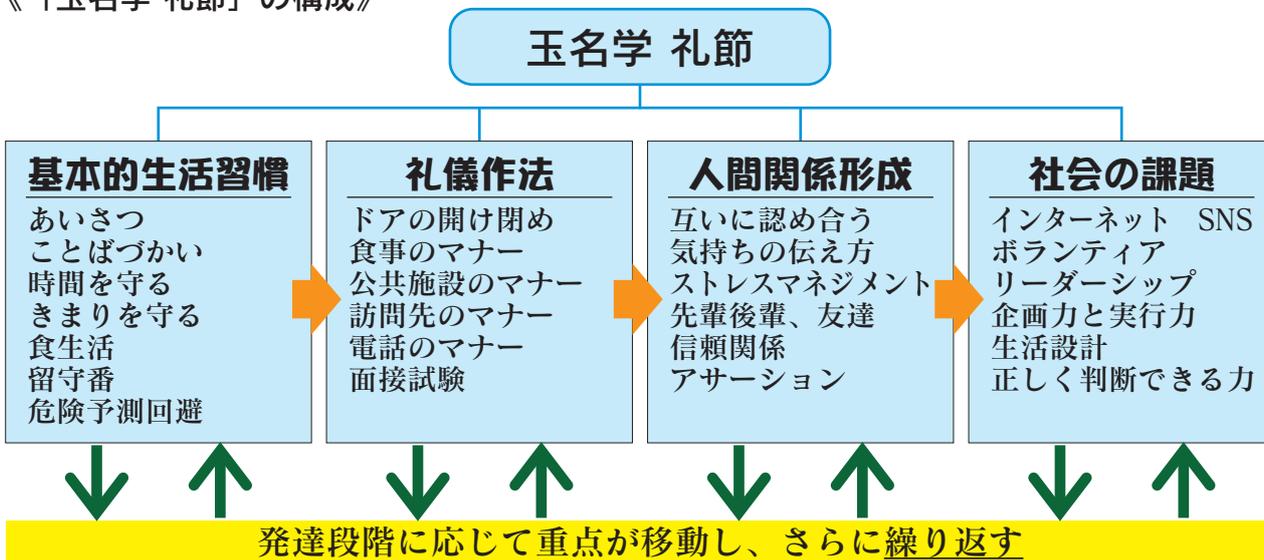
《玉名学の構造図》



《身に付けさせたい資質・能力の具体》



《「玉名学 礼節」の構成》



《「玉名学 探究」の構成》

玉名学 探究

地域学

- 3年 自然
- 4年 祭り・行事
- 5年 産業
- 6年 歴史

玉名を知る
玉名に誇りを持つ



学年固定のテーマ

- 3年 安心・安全
- 4年 福祉
- 5年 環境
- 6年 国際理解・平和

現代社会の課題と解決の
在り方を見つめる



生き方

- 4年 10歳の夢
- 6年 自分の成長

節目を大切に
よりよく生きる
希望と勇気を持つ



キャリア教育

中1年

玉名の著名人の生き方に
学ぶ

中2年

世界の中の玉名
10年後の自分を見つめて
～職場体験～ ～立志式～

中3年

見つめよう、未来の自分

社会を生き抜く力



《家庭との連携》

礼節の学習の様子を家庭に伝えることで、家庭の教育力の向上にもつながっています



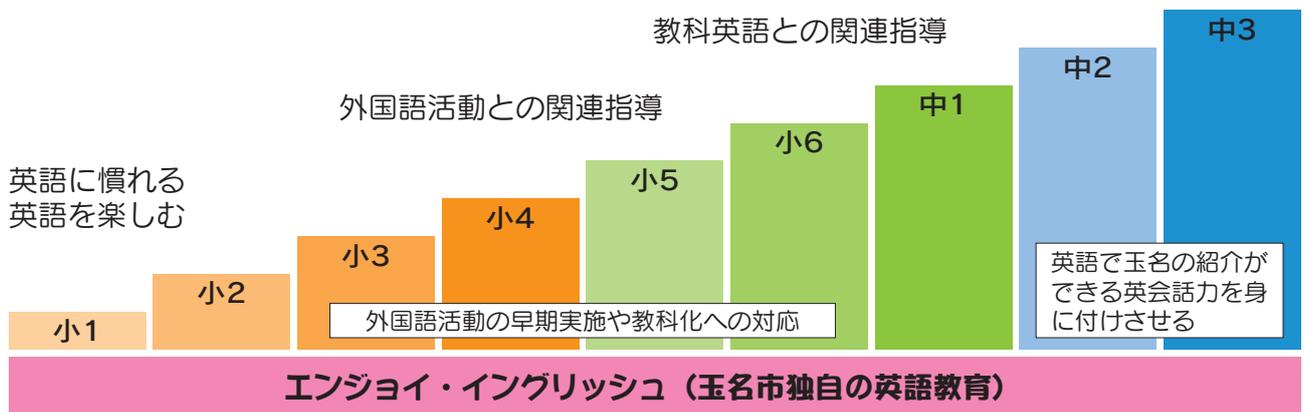
学びの実践化
学びの共有
家庭教育力の向上

自宅での食事中に箸の持ち方やマナーについて、兄に注意したりしています。家庭でマナーについて再確認するよい機会にもなっているようです。ありがとうございます。

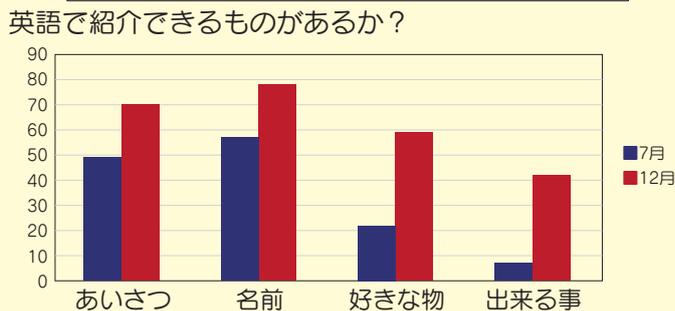
礼節の学習をとおして、目上の人に対する言葉遣い、マナーなどを学ぶことができ、子どもがぐっと成長したと感じています。親から教えられて学ぶこと、授業の中で友達と話し合いをしながら答えを見つけて学ぶこと、それぞれに自分なりに感じて考えて学んでいけるので、子どもから出てくる言葉に、大人も改めて考えさせられたりしています。

(「玉名学 礼節」についての保護者の感想例)

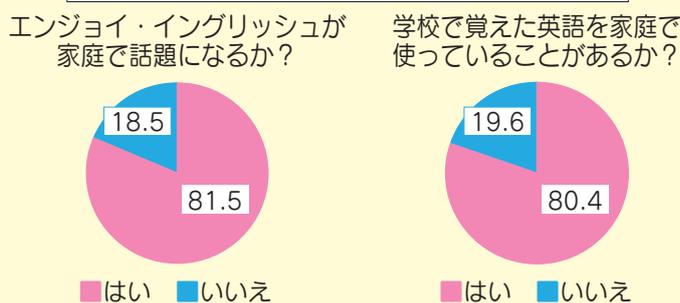
【エンジョイ・イングリッシュ】 小学校1年生から毎日10分間程度の学習に取り組みます



アンケートの結果 (児童)



アンケートの結果 (保護者) 10月実施



エンジョイ・イングリッシュは、玉名市独自で作成した学習プログラムとDVDにより、楽しく繰り返し児童生徒の英会話力を育成する活動です。

研究指定校では、全学年が1年生用の学習プログラムを使用して学習し、グラフに示すように、英会話力向上の成果が得られています。

「玉名学」の学びとあわせて、義務教育修了段階で「玉名のよさ」や「玉名の文化や産業」などについて英語で紹介できるよう力を育てることを目指しています。

〈お問い合わせ先〉

玉名市教育委員会教育総務課 教育政策係

〒865-8501 玉名市岩崎163

TEL : 0968-75-1133 FAX : 0968-75-1138

* 「未来を創る 玉名市の小中一貫教育」は、玉名市HP <http://www.city.tamana.lg.jp/q/list/264.html> に掲載しています。